

指定管理者制度導入施設 モニタリングチェックシート

(平成26年度 上半期(4月～9月) の管理運営状況)
年間(4月～3月))

施設名	五日市ファインプラザ	指定管理者	シンコースポーツ・アズビル・東京体育機器共同事業体
指定期間	平成26年4月1日から 平成31年3月31日まで	担当課	生涯学習スポーツ課

1 業務の遂行状況及び収支の状況

項目	分類	年間計画 (A)	実績 (B) (モニタリング時)	対計画比率 (B/A×100)	
業務の 遂行状況	開館日数 (日)	334	334	100.0%	
	延べ利用者数 (人)	171,207	171,478	100.2%	
	事業開催 回数	必須事業 (回)	216	218	100.9%
		自主事業 (回)	1,140	1,141	100.1%
収支状況	収入	指定管理料 (円)	100,485,418	100,485,418	100.0%
		利用料金収入 (円)	21,505,050	20,485,490	95.3%
		自主事業収入 (円)	11,918,000	10,973,542	92.1%
		その他の収入 (円)	0	0	—
	収入計 (円)		133,908,468	131,944,450	98.5%
	支出	人件費 (円)	22,521,604	41,324,345	183.5%
		維持管理経費 (円)	99,468,864	79,864,859	80.3%
		自主事業関係経費 (円)	10,490,200	8,695,640	82.9%
		その他の支出 (円)	0	0	0
	支出計 (円)		132,480,668	129,884,844	98.0%
収支 (収入－支出) (円)		1,427,800	2,059,606	—	

指定管理者の自己評価 (改善点、その他特記事項)

<p>【開館日数・利用者数について】</p> <p>○開館日数について 26年4月より休館日を毎月第1・第3水曜日としました。(25年度までは毎週水曜日) また、年始の開館を1月4日からとしました。(25年度は1月5日) 開館日は、25年度と比較し29日拡大しております。プール換水清掃のため10月2日、3日の2日間プールの開放を中止しました。</p> <p>○利用者数について 個人利用者数 92,175 人、団体利用者数 79,303 人。合計 171,478 人で年間の計画に対し 100.2%、前年比 107.4%となり順調に増加しております。</p>	<p>【事業の実施状況について】</p> <p>○必須事業について 継承事業のアクアビクスを毎週木曜・土曜の週2回、同じく親子自由開放及びプールワンポイントアドバイスを毎週1回実施しました。また、毎月2回、障がい児水泳教室を開催し、障がいをお持ちの方の支援を行いました。トレーニング室の初回講習回数も増やし利用機会の増加に努めました。3月にはダンスフェスティバルを開催し、多くの方に参加いただきました。</p> <p>○自主事業について 自主事業教室は、26種目の教室を全1,141回実施しました。そのほかくじ引き大会やお絵かき展示会など、利用者の方楽しんで頂けるようなイベントを毎月実施しました。利用者の方の利便に供するため、トレーニングウェアや健康グッズなどの販売も行いました。また、障がい者施設「NPO 法人秋川虹の家」で製造したクッキー</p>	<p>【収支状況について】</p> <p>○収入について 利用料金収入は年間計画に対し95.3%となっており、目標には届きませんでした。まだ、第2・4・5水曜日の開館が、周知されていないことが要因と考えられます。今後は告知を積極的に行い、利用者増に努めたいと思います。 自主事業収入は、計画値に対し92.1%となりました。こちらも水曜日の教室参加者が思うように増加しなかったことと、物販収入の減少が要因となっております。次年度は、教室数や種目を増加させ、多くの方に参加して頂ける運営を行いたいと思います。</p> <p>○支出について 維持管理経費では、光熱水費の抑制に重点を置いて支出削減を図りました。特に開館日が拡大しているため、必要以上のエネルギーを使わないよう努めました。結果として、計画範囲内の支出となっております。</p>
---	---	--

	販売を開始し、障がいを持った方の支援活動を行いました。2月には、主催水泳大会を実施し、多くの方にプールを利用して頂きました。	○物販・教室等は自主事業収入及び自主事業関係経費に含まれています。
所管課の評価（指摘事項）		
【開館日数・利用者数について】 開館日が増えたことにより、大幅に利用者数が増加しています。今後は自主事業においても利用者の増加を図ってください。	【事業の実施状況について】 市民の健康増進につながる教室等の継続した実施に併せ、今後は高齢者や障がい者を対象としたプログラムを増やすなど、事業の展開に努めてください。	【収支状況について】 開館日の変更や自主事業の案内については、十分な周知を行い、利用者の増加に努めてください。光熱水費は年間計画に対し80%に抑えられたのは節減への取組の成果と思われます。今後も利用者へのサービスの低下にならない範囲で節減に努めてください。

2 チェック項目

評価項目・評価事項（数値目標）		確認資料等	指定管理者の自己評価	所管課の評価
受付等の業務	施設の利用許可等を条例に従い適切に行っている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
	使用料、利用料金の徴収、減免を適切に行っている	日報、月報、申請書	適正・要改善	適正・要改善
施設・設備の維持管理	消防設備、機械設備の保守点検や施設の修繕等を適切に行っている	各種点検結果報告書、実地	適正・要改善	適正・要改善
	衛生環境を維持するため清掃業務等を適切に行っている	日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
	備品等を適切に保管・管理している	備品台帳、実地	適正・要改善	適正・要改善
	業務の全部又は主たる業務を第三者に請け負っていない	実地	適正・要改善	適正・要改善
安全性への配慮	安全管理、衛生管理、危機管理に関するマニュアルが整備され、また、職員等に対する指導訓練が適切であり、市への通報体制が整っている	危機管理マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	避難経路の確保、事故防止策や防犯等の警備業務など利用者への安全対策が講じられている	実地	適正・要改善	適正・要改善
	損害保険等の必要な保険に加入している	保険証書	適正・要改善	適正・要改善
透明性・公平性	ホームページ等により施設の情報の公開に努めている	ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
	情報公開に対する体制を整備している	情報公開マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	利用者の平等な利用が確保されている	日報、月報、利用者アンケート、申請書	適正・要改善	適正・要改善
効果的・効率的な運営	苦情や利用者アンケートによる意見、要望等を管理運営に反映している	利用者アンケート	適正・要改善	適正・要改善
	施設の利用者拡大の取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	経費削減のための取組を行っている	日報、月報、事業報告書	適正・要改善	適正・要改善
	広報紙、チラシ、ホームページなどにより積極的に事業等を周知している	広報紙、チラシ、ホームページ	適正・要改善	適正・要改善
人員配置・人材育成等	事業計画書どりの人員を配置している	9人 人員配置計画、実地、出勤簿	9人 適正・要改善	適正・要改善
	事業計画書どりの職員の指導育成や研修を行っている	2回/年 研修マニュアル	実施回数 2回 適正・要改善	適正・要改善

人員配置・人材育成等	障がい者や高齢者の雇用促進に努めている	5%	人員配置計画	6.0% 適正・要改善	適正・要改善
	労働法令の遵守や労働条件への適切な配慮がなされている		実地、出勤簿	適正・要改善	適正・要改善
個人情報の保護	個人情報を保護するための取組を行っている		個人情報保護マニュアル	適正・要改善	適正・要改善
	文書管理を適切に行っている		保存文書	適正・要改善	適正・要改善
自主事業の取組	自主事業の実施により、市民サービスの向上に努めている		事業報告書、日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善
環境への配慮	省エネルギーの取組、環境負荷低減、ゴミの減量など、環境への配慮に取り組んでいる		日報、月報、実地	適正・要改善	適正・要改善

※評価基準

「適正」：その項目について、協定書、事業計画書等に沿った適正な指定管理業務を行っている。

「要改善」：その項目について、協定書、事業計画書等に照らし合わせて、目標達成されておらず、改善の余地がある。

3 上記1、2の評価に関する所見

指定管理者による所見（改善点、その他特記事項）
<p>総利用者数は 171,478 人で前年比 107.4%となりました。開館日を拡大したことで多くの市民の方に利用していただきました。個人利用だけでなく団体人数が増加したことも大きな成果だと考えております。収入の面では、計画に対しマイナスとなりました。支出の面で特に注意した点は、光熱水の使用量です。開館日拡大で必要以上のエネルギーを消費しないよう、消灯や空調管理を徹底し抑制に努めました。また、機器への負担も懸念されましたが、対策として日々の点検やメンテナンスを強化しました。修繕費は、若干計画をオーバーしてしまいましたが許容範囲内となっております。</p> <p>収入は計画に届きませんでした。支出を計画範囲内に収めることができたためプラス収支となっております。</p> <p>自主事業の教室事業は、市民の皆様が選択できるよう、種目を増やし実施しました。教室参加者数は 10,985 人となっております。次年度は、水曜日の集客に努め更なる利用者増を図りたいと思います。</p> <p>障がい者の方の支援活動も水泳教室やクッキー販売などで実施しました。次年度は、更に活動を拡大したいと考えております。</p> <p>総括として、26 年度は事故もなく、多くのお客様に利用していただけたことが一番の成果だと考えております。</p> <p>今後も多くのお客様を最優先に考え、安全で快適に利用していただける施設運営を実施していきたいと考えております。</p>
市による所見（指摘事項など）
<p>開館日数が増えたことにより利用者数が前年比 107.4%と大幅な増加となりました。今後は自主事業において参加者の増加が図れるよう、市民のニーズに対応した事業の展開、また、周知を十分に行い、年間利用者数の減少とにならないよう努めてください。人件費については、計画の 2 倍近い支出となっております。開館日数の増加による影響と考えますが、光熱水費と同様に、利用者の安全面への配慮及びサービスの低下とにならないよう、工夫した節減に努めてください。今後も利用者へ安全で快適に施設を利用していただけるよう、徹底した施設運営を行ってください。</p>